小学校６年　社会　調査結果及び考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	産　業	国　土	歴　史	
＋10％ より高い	1	2	0	3	0	0	3
±10％ の範囲内	5	5	3	3	1	9	１３
－10％ より低い	0	1	3	2	1	1	4
計	6	8	6	8	2	１０	２０

（２）考察

①　全体について

ア　基礎的な学力の定着状況は良好である。

②　成果

ア　過去に出題され通過率が低かった内容については改善が図られている。

イ　歴史的事象の意味や働き，歴史上の人物についての理解については改善が図られている。

③　課題

ア　都道府県名と地図上の位置についての理解に不十分なところが見られる。

イ　複数の資料を活用して、考えて判断したり、分かったことや考えたことを自分の言葉で表現したりする力が不十分である。

（３）今後の指導

ア　複数の資料を活用して、考えて判断したり，分かったことや考えたことを自分の言葉で表現したりする学習を充実する。

○ポイント［（５（６を例として］

①児童が課題解決のために活用できる地図資料，統計資料などの提示（地図帳にある資料の活用も検討）

②思考の過程や操作が見える板書構成やノート指導

③分かったことや考えたことを自分の言葉で表現する活動（書く活動等）の重視

○具体例

・提示する資料

・日本の工業のさかんなところと生産額など，地域を比較しながら読み取るための資料
・日本の輸入品，輸出品目を示した資料
・主な工業原料の輸入の割合を示した資料　　など

・課題と子どもの予想の例

＜課題＞なぜ，日本の工業のさかんなところは，海の近くに多くあるのだろう。

■調べたこと　　☆分かること
・人口が多い　　→労働力や買う人が多い
・交通の便がいい　　→原材料や製品の輸送に便利
・機械類や自動車の輸出が多い →海外への輸出に有利
・燃料，原材料の輸入が多い→海外からの輸入に有利

・児童のまとめの例

日本の工業のさかんなところは海ぞいに広がっていることが分かりました。そのわけとしては，人口が多く労働力を得やすいことや交通の便がよく輸送に便利なことが分かりました。それだけでなく，例えば，燃料，原材料の輸入や工業製品の輸出など，海外との貿易とも関係あることが分かりました。つまり，日本の工業は，ものを作るだけでなく，運輸や貿易にも支えられて発展していると言うことです。

・日本の工業生産を支える貿易や運輸の働きを理解するために、工業がさかんなところの分布図と生産額の資料などを活用し、地理的にどのような場所にあるのかに気付かせることが大切である。

・調べたことや発言内容を分類・整理し、キーワードを考えながらまとめていく。この過程が、調べたこと（見えること）から社会的事象の要因（見えないこと，関係性）を見いだすために重要であり、この過程への児童の参加が欠かせない。また、思考の過程が目で見て分かるように、「例えば」（具体）や「つまり」（抽象）といった語を用いたり、関連する内容を矢印で結ぶなどの板書構成やノート指導の工夫が必要である。

・単元のまとめを、児童自身に書かせる活動が重要である。その際、最初は書き出しや文末を指定したりキーワードを示したりし、その後は、児童の実態に応じて、徐々に自力でまとめさせるようにする。また、工夫されたまとめを取り上げ、モデルとすることも有効である。